

三木市細川町大二谷地区（ぶどう、野菜等）

就農・定着応援プラン

作成年月日 令和8年4月28日
(改訂年月日 年 月 日)

チーム名

三木市細川町大二谷地区

就農・定着応援チーム

地域の概要

三木市細川町大二谷地区はこのような地域です

1 位置

三木市は兵庫県の南東部にあり、東経135度の日本標準時子午線上に位置し、北部は三田市・加東市・小野市、西部は加古川市・稲美町、南東部は神戸市に接しています。

大二谷地区は、三木市の東部に位置し、山陽自動車道三木東ICや中国自動車道吉川ICからのアクセスも良い地域となっています。

2 人口

三木市の人口35,036世帯、72,171人のうち、大二谷地区には27世帯が生活しています（令和8年1月31日時点）。

3 気候

温暖で降水量の比較的少ない瀬戸内式気候に属しており、年間平均気温は15.1度と1年を通して温暖で過ごしやすい気候です。

瀬戸内海式気候の中でも、中山間地で気温日較差があり、米の登熟や酒米に求められる心白の発現に、また粒が大きく糖度の高いぶどう生産に適した気象条件を持つ地域です。

4 三木市細川町大二谷地区の農業

水田では水稻単作となっており、その多くで酒米「山田錦」の生産が行われています。

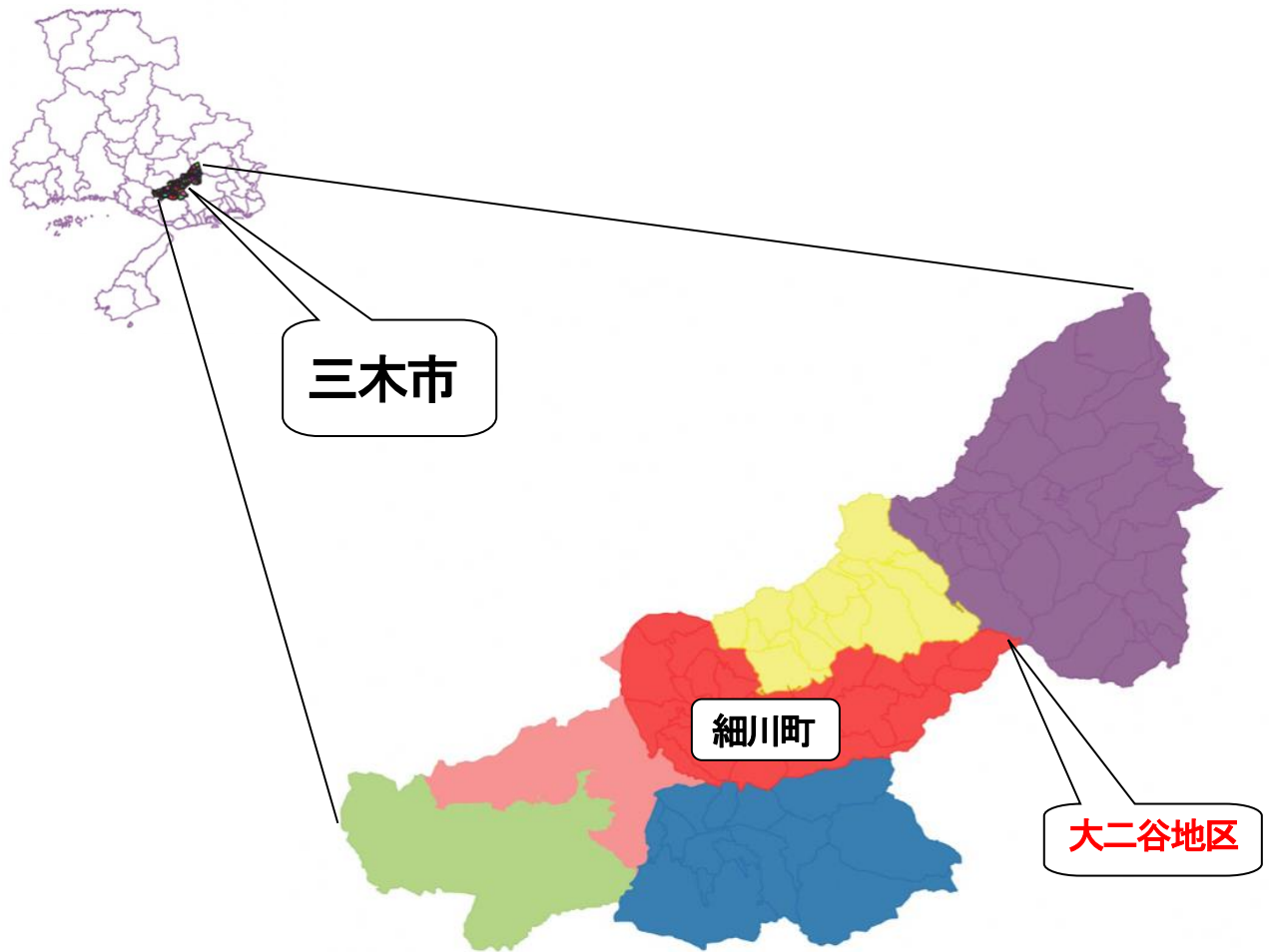
また、果樹園ではぶどう生産を行い、みずほぶどうブランドで直売や宅配を中心に販売されています。

畑地では、（株）コープエコファームや地区内外の農家がハウスや露地栽培でハウスいちごや野菜生産に取り組んでいます。

5 観光

道の駅よかわ、山田錦の館、吉川温泉よかたん など

地図



大二谷地区では次のような農業をしています

1 水田（水稻）

23戸が水稻経営を行っています。酒米「山田錦」を主要品種としつつ、食用米はキヌヒカリを中心に栽培しています。

水稻の育苗、耕耘、田植え、収穫、乾燥調製の基幹作業を集落営農組織である「大二谷農業生産組合機械利用部」が担っているため、耕作放棄地を出すことなく、地区の農家によって健全に管理されています。

2 果樹園（ぶどう）

現在、8戸がぶどう栽培に取り組んでいます。

大二谷農業生産組合ぶどう部会が組織され、同部会が運営する「みずほぶどう園」が直売を中心に共同販売されています。近年、生産者の高齢化や担い手不足によって、樹を伐採したり、棚を撤去する園地が出てきています。

3 畑地（野菜等）

（株）コープエコファーム、地区内外の農家がハウス野菜や露地野菜、ハウスいちごを生産しています。

（株）コープエコファームは地区農家から、農地バンクを通して畑地を借り受け、ハウス35棟（2ha）でトマト、ほうれんそう、青ネギ等を、露地11haでブロッコリー、だいこん、さつまいも等の野菜を生産し、コープこうべへ出荷しています。

また、コープこうべ店舗で排出された食品残渣を原料に製造した堆肥で生産した野菜を、再び店舗で販売する資源循環型農業を実践しています。

求める新規就農者

大二谷地区では、水田は地区農家によって健全に管理されています。果樹園でのぶどう栽培や畑地での野菜栽培を後世に継承するため、次のような新規就農者を募集しています。

果樹園（ぶどう）

- ・ 空き園地において、ぶどう経営を一生の業として捧げる覚悟のある方
- ・ ぶどう部会が定めた新規就農者受け入れのルールをもとに研修を重ね、技術を習得した後、ぶどう生産や共同出荷販売に取り組む方
- ・ 部会のルールを守り、部会活動への参加を通じてぶどう産地を盛り上げてくれる方

畑地（野菜等）

- ・（株）コープエコファームが取り組む資源循環型農業に賛同し、野菜生産に取り組む意欲の高い方
- ・（株）コープエコファームにおいて一定期間の雇用研修を通じ栽培技術等を習得した後、提携農家としての独立就農、または同社へ雇用就農できる方
- ・ 畑地を利用した野菜等の経営に取り組む意欲の高い方

【地区行事と共同作業】

- ・草刈りや水路清掃、その他、地区やＪＡ、市等が開催する行事に参加できる方

就農者への支援

行政、ＪＡ、親方農家等による研修サポートを行います

果樹園（ぶどう）

- ・就農を希望される方は、三木市や加西農業改良普及センターと調整し、農業体験やインターンシップの実施をサポートします。
- ・インターンシップ後、本格的に研修を実施する場合は、三木市、加西農業改良普及センター、ＪＡによるサポートはもちろん、みずほぶどう園が研修機関となり、個人ごとに研修方法を相談します。
- ・みずほぶどう園の指導の下、栽培技術等を学びながら、地域との係わりを築いていただきます。
- ・研修期間は１～２年を計画しています。

畑地（野菜等）

- ・就農を希望される方は（株）コープエコファームによる農業体験やインターンシップの実施をサポートします。
- ・インターンシップ後、本格的に研修を実施する場合は、三木市、加西農業

改良普及センターのサポートを得ながら、(株) コープエコファームによる雇用研修を通じて、野菜生産技術の習得を支援します。研修期間は技術の習得程度によって異なりますが、現在、就農された方は、約4年間の研修を経て独立されました。生産した野菜は全量コープこうべへ販売できるため、安心して生産に専念することができます。

農地探しや機械施設の利用・整備支援

果樹園（ぶどう）

- ・ぶどう栽培の技術を習得し、地区との良好な関係構築できた方に対して、市、農業委員会、加西農業改良普及センター等と情報共有しながら、空き園地の確保を支援します。

- ・条件が合えば、ぶどう棚や農業機械等の導入に際し、市、県の支援を得ながら、国等の補助事業を活用することができます。

畑地（野菜等）

- ・一定期間の研修後、栽培技術等を習得できた方が独立就農し、(株) コープエコファームの提携農家となる場合は、同農園が借り受けている農地を所有者と貸借できるよう支援します。

- ・条件が合えば、農業機械等の導入に際し、市、県の支援を得ながら、国等の補助事業を活用することができます。

その他の支援

＜三木市独自支援＞

1 農業研修に係る交通費助成

- （１）事業対象経費：自宅から三木市内で農業研修を受ける事業所までの自家用車燃料費又は公共交通機関の運賃等
- （２）補助率：１月当たり５，０００円以内（予算の範囲内）
- （３）申請者：三木市内で就農予定かつ就農準備資金を受給し農業研修を受ける者

2 移住に伴う家賃補助

- （１）事業対象経費：賃貸契約により市内の住宅を借りる月額賃料（共益費等を除く）
- （２）補助率：家賃の１/２以内。ただし、１月当たり２０，０００円を限度とする。（最長３年間）（予算の範囲内）
- （３）申請者：市外在住の者が、三木市内の賃貸住宅に移住し、経営開始資金等を受給する認定新規就農者

＜青年等就農計画策定支援＞

- ・国等の新規就農支援制度を紹介しながら、就農される方に最適な就農計画の策定をサポートします。

大二谷地区からのメッセージ等

果樹園（ぶどう）

ぶどう生産者の高齢化で空き園地が増えています。当地区で、ぶどうを生産したい方を研修段階から就農までチームでサポートします。令和8年4月から、新規就農希望者1名が研修を始めています。



栽培技術の習得に励む研修生

広がるぶどう団地

畑地（野菜等）

（株）コープエコファームでは、持続可能な農業を目指し、野菜の資源循環型農業に取り組んでいます。当農園の取組に賛同いただいた方を、将来、当農園の提携農家として独立できるよう、研修段階からサポートします。また、独立就農ではなく、雇用就農を希望される方もお問い合わせ下さい。

＜親方農家紹介＞

(株) コープエコファーム 水島宏幸さん

大二谷地区で、葉菜・根菜・果菜などを栽培しています。

これから農業を始めたい方や農業に興味がある方を、大二谷地区や三木市と一緒にサポートさせていただきます。

先輩農業者の声 中島健人さん

(株) コープエコファームの研修を経て、大二谷地区で就農しました。

初めて自分が作った野菜を出荷した時はとても嬉しかったです。これからも、消費者に美味しい野菜をお届けするため、三木市で農業に励みたいと思います。



新規就農者の中島健人さん



(株)コープエコファームが生産する葉物野菜

スイートコーンとブロッコリーを生産しています。

大二谷地区での就農に興味を持った方はこちらにご連絡ください

- ・ 応援チームの連絡窓口

三木市農業振興課にお電話ください。（担当：田井、北村）

電話 0794-82-2000

メール nogyo@city.miki.lg.jp

役割分担

大二谷農業生産組合 ぶどう部会 (みずほぶどう園)	・ 農業体験（インターンシップ）サポート ・ 栽培技術等修得（研修）サポート ・ 地域への溶け込みサポート ・ 農地確保サポート
(株) コープ エコファーム	・ 農業体験（インターンシップ）サポート ・ 栽培技術等修得（研修）サポート ・ 農地確保サポート ・ 販売サポート

三木市	・就農相談窓口 ・農業支援制度、移住支援制度の情報提供、サポート ・応援チームの窓口
加西農業改良普及 センター	・栽培技術指導 ・農業支援制度（県）の情報提供、調整